

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：小児外科 吉村 翔平

【研究責任者】

聖路加国際病院 小児外科 吉村 翔平

先天性消化管閉鎖症に関連する母体因子の検討に関する研究

1. 研究の対象

2004年1月～2019年8月に当院で出生したお子さんとそのお母さん。

2. 研究の目的・方法

先天性消化管閉鎖症は、先天性食道閉鎖症や十二指腸閉鎖症・狭窄症、小腸閉鎖症、直腸肛門奇形（鎖肛）などの病気が含まれており、妊娠初期における発生的な異常や環境因子などによって生じると考えられています。しかし、先天性消化管閉鎖症と高齢出産や不妊治療などとの関連についてはほとんど報告がありません。

当科では、これまでの臨床研究において先天性消化管閉鎖症の手術が必要だったお母さんには高齢出産や不妊治療を行った方が高率に含まれていたことを報告してきました。このような経緯から、先天性消化管閉鎖症に出産時年齢や不妊治療などの母体因子が関連している可能性を検討するために、当院の全出生データを用いた検討を計画しています。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究で使用する主なデータ項目は以下となります。

カルテ番号、出生情報、病歴、出産時年齢、不妊治療の有無など